

(様式3の2)

つくば市子ども未来プラン(案)の背景・経緯等

つくば市保健福祉部社会福祉課子ども未来室

○ 計画等を必要とする背景・提案に至るまでの経緯

つくば市において、就学援助や生活保護の対象となっている1～9年生の児童生徒は、平成30年度に1,219人に上り、つくば市が平成29年度に行った調査では、所得水準によって学校以外での学習環境に違いが存在する傾向が見られます。

現在、市内で提供できている学習支援は限定的であり、安心できる居場所づくりを含めて施策の充実を図る必要があることから、必要となる政策を中長期的な視野に立ち部局横断的に実行するため、「つくば市子ども未来プラン」を策定します。

○ 他の自治体の類似する計画等の事例

なし。

○ 未来構想における根拠又は位置付け

本プランは、市の基本的なまちづくりの指針である「つくば市未来構想」の「人を育み、みんなで支えあうまち」に位置づけ、未来を担う子どもを育み、暮らしの様々な場面で互いに支えあうことができるまちを目指します。

○ 関係法令及び条例等

なし。

○ 計画等の実施により予測される影響及び効果(算出できるものはコストを含む)

- ① 自己肯定感を持つ児童生徒の割合の増加
- ② 将来の夢や目標設定力を持つ児童生徒の割合の増加
- ③ 家庭学習の習慣づけができていない児童生徒の割合の増加
- ④ 「よくわかる」「わかる」を実感できる児童生徒の割合の増加
- ⑤ 希望者全員の高校進学・卒業

パブリックコメント資料